

香川県厚生農業協同組合連合会 屋島総合病院

実 施 日	令和 7 年 8 月 7 日（木）	実施時間	9：40～15：00
参加人数 計 10 名	小学生 0 名（男 0 名・女 0 名） 中学生 0 名（男 0 名・女 0 名） 高校生 10 名（男 1 名・女 9 名） その他 0 名（男 0 名・女 0 名）		
実施 プログラム	・挨拶 ・記念写真 ・看護部長より看護の道について講話 ・病棟体験（足浴、洗髪、ストレッチャー・車椅子体験・バイタル測定 とろみ茶体験、配膳） ・BLS 体験 ・振り返り ・修了書授与		
実施内容	初めは緊張した様子でしたが、体験が進むにつれ参加者同士の会話が弾み笑顔が見られるようになりました。看護の道について看護部長の講話を聞く参加者の眼差しは真剣で、今後の進路について具体的なイメージが湧いたと思います。病棟体験では患者と関わる事で看護師の役割を学び、相手を思いやる事の大切さに気づく事ができていました。BLS 体験では、救命処置の難しさと仲間との連携が重要であることを実感したようです。 今回のふれあい看護体験は、私たち看護師にとっても初心を振り返る貴重な機会となりました。		

ふれあい看護体験 2025



高校生

ふれあい看護体験では、特に爪切りの体験が強く心に残りました。正しい方法で切らなかったり、ヤスリのかけ方を間違えると、血液をさらさらにする薬の影響で大量出血につながるがあると学びました。また、痛みの間隔が鈍くなっている方も多く、細心の注意が必要だと感じました。私はそのことを意識しながら慎重に爪を切りました。終わった後、「ありがとう」と笑顔で言ってもらい、とても嬉しかったです。この経験を通して、医療に関わりたいという気持ちがより強まり、将来は養護教諭として一人ひとりを支えたいという思いが固まりました。

高校生

先日は普段見ることのできない患者さんへの対応の仕方や看護師の仕事内容を近くで見ることができたり、実際に患者さんの爪を切らせていただくことができとてもいい体験になりました。また、認定看護師の方から一次救命を AED の使い方を学び、倒れていた人がいた時、意識・呼吸がない時など様々な状況での対処法を知ることができた。もしそのような場面に遭遇したら役立てたいと思いました。

高校生

ふれあい看護体験に参加してより一層看護師になりたいという気持ちが高まるとともに、看護の最前線を目に焼き付けることができたたくさんの学びを得られました。そして心肺蘇生法や AED の使い方を学んで実際にしてみるとパニックになって想像よりも大変なんだと身に染みて感じてました。もしどこかで誰かが倒れていたら迷わず助けに行けるよう今回は学んだことを心に留めておきたいです。

